

もっと現場を知る！職員短期派遣研修報告書

所属名	農業技術センター	氏名	三原 美雪
派遣先 団体名	特定非営利活動法人 斐伊川流域環境ネットワーク		
<p>① 研修の日時 6/4,6/5,6/10,6/28,7/21,8/29,9/4,9/12,10/15,12/12</p> <p>② 研修の内容(できるだけ詳しく記載してください。)</p> <p>●ヨシ植栽用竹ポット・どんぐり用竹ポットづくり及び宍道湖水環境保全学習会の補助 宍道湖周辺の小学校での総合的な学習の時間において、各回90分の環境学習・竹ポット作成の補助を行った。竹ポット作成は、普段子供たちが使うことの少ない(私自身も初めての体験であった)、鉋や電気ドリルを使っの作業で、子供の安全を第一に考える必要があり大変気を遣った。子供たちにとっては重労働で難しい作業と思われたが、完成したときの子供たちの喜びを嬉しく感じた。 また、シジミによる水質浄化実験やヨシ皿作成等の実演を交えた環境学習は子供たちも興味津々だった。</p> <p>●竹の下準備 竹ポット作成用の竹をのこぎりで切り、小学生が竹ポットを作るための下準備を行った。炎天下の畑での作業で重労働ではあったが、活動のための下準備の重要性を改めて感じる事ができた。</p> <p>●ヨシ植栽活動(10/15) 宍道湖沿岸のヨシ植栽活動の補助を行った。写真撮影、植栽補助、植栽後の補植、片づけ等を行った。当日は多くの小学生、地域の人々、ボランティア、行政関係者等が集まり、賑やかなイベントであった。宍道湖の環境保全をしたい、という思いを持ったこれほど多くの人々が集まることは素晴らしいことだと感じた。多くの小学生の心の中に、この活動や環境保全に対する思いがいつまでも残ると良いと思う。</p> <p>●ソバ打ち交流会 当ネットワークのメンバーとともにソバ打ちを行った。</p>			

③ 研修全般の感想

研修全般は初めての体験が多く、また、普段の業務の中では行うことのない作業であり、自分自身にとって参考になる部分が多かった。

同時に、小学生が刃物を使うことの意義を感じた。近年、とかく危険なものは子供に扱わせない、という意識を持つ大人が多いが、子供時代に危険な経験を含め多くの経験を持たせることが重要であると思った。

現在、自分自身は農業に関連する職務に就いているが、農業分野の後継者不足は深刻な課題である。また、農業に関する消費者理解促進の必要性等は常々感じていることである。それらのことから、今回の研修を通し、子供たちに農業教育を行う必要があると深く認識した。本研修での経験を今後の業務にも活かしたい。

また、当ネットワークのメンバーの皆様の「環境を切り口に地域を良くしようという熱い思い」には心打たれるものがあった。メンバーには年齢の高い方も多く、この方々の持つておられる技術や知識には、多くの勉強をさせられた。この方々の貴重な技術・知識を後世に伝えるという意味でも意義は大きいものであったと思う。

当ネットワークの活動は今期で最後であったということで大変残念に思っている。地元の小学校等からも期待が大きかった活動であり、これらの多くの意義ある活動が何らかの形で引き継いでいけないものかと思う。

(注1) 研修日時・内容等がわかる資料があれば、添付してください。

(注2) 研修終了後、報告会を開催します。